

ど しょうまち
くすりの町・道修町で、無料イベント開催
自由研究のヒントが満載の「夏休み親子おくすり教室」

すくなひこな
～230年続く少彦名神社、薬問屋や製薬企業の集う「くすりの町」で体験学習～

治験(臨床試験)支援機関のインクロム株式会社(所在地：大阪府吹田市 代表取締役：金田仁二郎)は、少彦名神社、大阪家庭薬協会(ともに大阪府中央区)との共催で、小学校高学年対象の「夏休み親子おくすり教室」を7月30日(土)に開催いたします。

当イベントは3年目の開催です。今年は“生薬・薬草”をテーマに、中国から日本へ渡った生薬・薬草の歴史を学ぶ座学や、本物の薬の型を用いる薬膳ラムネづくりの体験学習などを用意します。自由研究や夏の思い出づくりをきっかけに、大阪近隣に住む親子に大阪の歴史と産業「くすりの町・道修町」を知っていただくこと、健康を守る医薬品を身近に感じていただくことが狙いです。

■生薬と薬草、中国から日本へ渡った知恵と歴史を学ぶ

親子で学ぶ座学のテーマは「生薬と薬草～薬の歴史」です。講師は、田村薬品工業(大阪家庭薬協会所属)の社員です。同社は、薬草の産地として古くから知られる葛城山の麓(奈良県御所市)に薬草園を保有し、薬草に詳しい社員が来園者へ解説をしています。

■“医食同源” 薬膳を学んで、薬膳ラムネをつくる

「薬膳ラムネづくり体験」では、スーパーなどでも入手できる身近な薬膳食材について学んだ上で、親子でラムネをつくります。講師は生姜博士としてTV番組で紹介された大阪家庭薬協会 顧問の田部昌弘氏です。ここでつくるラムネ自体は食品ですが、本物の“チュアブル錠”型を用いて薬品づくりを疑似体験します。

■夏休みの自由研究のまとめ方、そのコツを学ぶ

「薬草をもっと知りたい」「薬の歴史を調べてみよう」「薬膳食材をいろいろ使ってレシピ集を」など何に興味を持つかはお子様次第ですが、どれも自由研究として活用できます。座学の「夏休み自由研究のヒント」では、自由研究をどうまとめるとよいか、同じく田部昌弘氏が解説します。

■少彦名神社 宮司 別所賢一氏コメント

商人の街として知られる大阪・船場エリア、中でも当神社のある道修町は「くすりの町」「日本の医薬品産業発祥の地」とも言われています。当イベントをきっかけに、ご自身や身近な人の健康を支えている薬、病の治癒を願ってきた人々の思い、また大阪の産業・歴史などいろいろな視点から気づきがあるのではないかと思います。イベントを楽しみながらも、そうしたことを親子でお話いただく機会となればうれしく思います。

■夏休み親子おくすり教室 概要

日 時：2016年7月30日(土) 13:30～16:30(受付開始 13:15)

対 象：小学5・6年生とその保護者

参加費：無料 ※要事前予約

申 込：2016年6月27日(月)～7月25日(月)

[web] www.incrom.com

場 所：少彦名神社(大阪府中央区道修町2丁目1-8)

主 催：少彦名神社、大阪家庭薬協会、治験のインクロム

くすりの町・道修町で体験学習
**夏休み親子
おくすり教室** 参加費 無料
【事前申込制】

【日時】2016年7月30日(土)
(受付13:15)13:30～16:30
【対象】小学5・6年生と保護者
※お子様のみでのご参加はご遠慮願います。
【場所】少彦名神社 大阪府中央区道修町2丁目1-8

薬膳ラムネづくり体験
薬膳食材入りラムネをつくらう
本物のくすりの型も使おう！
お話を聞いたら全員で記念撮影も！
親子で学ぶ「生薬と薬草～薬の歴史」 「身近にある薬膳食材」
数千年前からある生薬の知識が、中国から日本へ、今もくすりや薬膳として、使われているよ！
お楽しみ「自由研究のヒント」
修了証書授与
終了証書と記念撮影写真が授与されるよ！
神農さまも来るよ！

講師：下江秀明(田村薬品工業株式会社 研究開発課長)、田部昌弘(薬学博士/大阪家庭薬協会 顧問)

お申込みはホームページから【事前申込制】
【受付期間】2016年6月27日(月)～7月25日(月)
www.incrom.com (夏休み親子おくすり教室のページから、イベント参加ページへ)
※お申し込みは事前予約制です。お申し込みは先着順とさせていただきます。
【おくすり教室へのお問い合わせ】 インクロム株式会社 広報部 TEL:06-6192-0002(平日9時～17時)

少彦名神社・大阪家庭薬協会・治験のインクロム

本件に関する問い合わせ：

インクロム株式会社

広報部 三野 さんの

携帯：090-4649-1652

[大阪事業所] 大阪府吹田市春日4-12-11
千里サンプラザ新館 〒565-0853
TEL: 06-6192-0002
e-mail: bridging-japan@incrom.com
Web サイト: www.incrom.com

[参考資料 1]

■当日のプログラム

- 13:15~13:30 受付
13:30~ [座学]生薬と薬草～薬の歴史
14:00~ (神社境内にて) 宮司によるお祓いの後、神農さま^{※1}と記念撮影
14:20~ [座学]身近にある薬膳食材
[体験学習]薬膳ラムネづくり
15:25~ ティーブレイク^{※2}
15:40~ [座学]夏休み自由研究のヒント
16:00~16:30 修了証書授与式^{※3}

※1: インクロムのキャラクター「神農さま」は、少彦名神社公認です。

※2: 成人女性に多い冷え症を解消する「生姜紅茶」をご用意します。

※3: 修了証書授与式では、修了証書とともに記念写真を神農さまが授与します。

終了後、希望者はロビーにて神農さまとのふれあいタイム、また神社社務所ビル内の「くすりの道修町資料館」をご見学いただけます。

■2014年・2015年の同イベントの様子(順不同)



■健康の神、薬の神を祀る「少彦名神社」と「くすりの町・道修町」

少彦名神社のある大阪市中央区の道修町は、くすりの町として知られています。知られるようになったのは、江戸時代 8 代将軍徳川吉宗の時代である享保 7 年(1722)に幕府によって認められ、所薬種を吟味(検査)して適正価格をつけ独占的に全国へ供給するようになって以降のことです。

道修町を含む北船場地区の歴史は豊臣時代までさかのぼり、長崎からの輸入品を扱う貿易商の町で、中国から輸入される唐薬種を扱う堺の商人が、寛永年間(1624~1645)に道修町で薬種屋を開いたことから始まると言われています。

道修町の薬種商の家では、中国医薬の祖である神農氏の象や掛け軸を拝むようになり、安永 9 年(1780)に道修町の薬種中買仲間により結成された伊勢講が京都の五条天神宮より少彦名命の分霊を勧請し神農氏とともに祀ったのが、少彦名神社の始まりです。少彦名神社は、神農さんの愛称で親しまれています。



■大阪家庭薬協会 概要

大阪家庭薬協会は、昭和 20 年に大阪府内に本社または工場等の営業拠点を持つ家庭薬メーカー 34 社の親睦団体として創立されました。設立当初は「大阪府家庭薬組合」と称し、その後、昭和 25 年 2 月に「大阪家庭薬協会」と名称が変更され今日に至っています。今では大阪府内だけでなく関西近辺、東京、名古屋、九州に本社がある家庭薬メーカーも加盟し、事業内容も親睦団体から共同研究をする団体として活動しています。総会員社数は 48 社です。

■インクロム 会社概要

インクロムは SMO(治験施設支援機関)として医療機関と契約し、煩雑な治験業務のサポートを行っています。治験を担当するスタッフを医療機関に派遣、治験ボランティア募集業務やボランティアパネルの管理など、治験を円滑に進めるためのサポート体制を整えている点が特長です。これまでに当社が関わった試験数は国内だけで約 1,700 試験を誇ります。

当社が支援する提携医療機関の中核となっているのが、医療法人平心会 大阪治験病院です。大阪治験病院は、2005 年 11 月に開設された、日本で初めて生まれた治験に特化した病院です。

社名	インクロム株式会社
代表取締役	金田仁二郎
所在地	[大阪事業所] 〒565-0853 大阪府吹田市春日 4-12-11 千里サンプラザ新館
資本金	4000 万円
社員数	グループ総数 356 名(2015 年 12 月 1 日現在)
創業	1975 年
事業内容	治験実施支援
主要提携医療機関	医療法人平心会(大阪治験病院/OCROM クリニック/ToCROM クリニック)

■治験とは

厚生労働省は、新しい薬の使用を許可するとき、その薬の安全性と有効性(薬効)を裏づける、種々の資料の提出を義務付けています。それらの資料には、動物から情報を得るための試験である「非臨床試験」やヒトから情報を得るための試験である「臨床試験」の情報が含まれています。この「治療薬を開発して、厚生労働省の承認を得るために行なう臨床試験」のことを「治験」と呼びます。治験の資料がなくては、どんなに優れた効き目を持つ薬も許可されない、医薬品開発に不可欠なプロセスです。

■SMO とは (日本 SMO 協会 web サイトより抜粋)

SMO (Site Management Organization : 治験施設支援機関) は治験実施施設 (医療機関) と契約し GCP に基づき適正で円滑な治験が実施できるよう、医療機関において煩雑な治験業務を支援する組織です。治験に関わる医師や看護婦、事務局の業務を支援することにより、スタッフの負担を軽減し、治験の品質・スピード向上を支援します。